



2024年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月20日

上場会社名 サツドラホールディングス株式会社

上場取引所 東札

コード番号 3544 URL <https://satudora-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 富山 浩樹

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループグループリーダー (氏名) 加賀谷 大輔

TEL 011-788-5166

四半期報告書提出予定日 2023年9月21日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年5月16日～2023年8月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	23,985	11.6	227	212.3	184	142.1	93	201.8
2023年5月期第1四半期	21,496	0.8	72	23.5	76	11.1	30	12.0

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 102百万円 (225.3%) 2023年5月期第1四半期 31百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	6.75	6.75
2023年5月期第1四半期	2.24	2.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	44,247	8,802	19.6
2023年5月期	43,027	8,834	20.3

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 8,692百万円 2023年5月期 8,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期		0.00		10.00	10.00
2024年5月期					
2024年5月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年5月16日～2024年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	8.6	1,000	233.9	1,000	205.5	300	243.7	21.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年5月期1Q	14,236,564 株	2023年5月期	14,236,564 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年5月期1Q	432,803 株	2023年5月期	432,803 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年5月期1Q	13,803,761 株	2023年5月期1Q	13,793,253 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年5月16日～2023年8月15日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行されたことにより、社会経済活動の正常化が進んだものの、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界においては、業界の垣根を越えた競争の激化や既存企業間の出店競争、M&Aによる寡占化など、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2026年5月期を最終年度とする中期経営計画において「地域の生活総合グループへの進化」をテーマに、「店舗の生活総合化戦略」「地域プラットフォーム戦略」「コラボレーション戦略」の3つの成長戦略と、組織戦略に取り組んでおり、中核事業であるリテール事業の収益基盤を強化しつつ、事業領域を「モノを売る」だけの小売から「モノ×サービス」を提供する生活サービスの領域に拡大することにより、競合他社との違いをつくりながらグループ全体の成長を目指しております。

店舗の生活総合化戦略としては、調剤併設店舗の拡大に取り組むとともに、商品カテゴリーの拡大に向けたラインロビングの一環として生鮮食品の取り扱い店舗の拡大を進めております。また、「エブリデー・セიმ・ロープライス (ESLP)」を中心とする価格戦略と「サツドラアプリ」を活用したデジタルマーケティングの推進を通じて、収益基盤の強化に取り組んでおります。

地域プラットフォーム戦略としては、2023年7月末現在、北海道共通ポイントカード「EZOCA」会員数が210万人を突破し、提携店も200社（800店舗）を超え、EZOCA経済圏は成長を続けております。また、江差町との包括連携協定に基づく取り組みの一環として運用を開始した「江差EZOCA」には、買い物金額の一部を町に還元する仕組みが導入されており、地域経済の活性化に寄与することを目指しております。同町においては、移動の利便性向上を目指したMaaSの実証実験にも取り組んでおり、江差EZOCAから取得したデータなどを活用・検証することで、「収益循環モデル」の社会実装を目指しております。

コラボレーション戦略としては、新たにヤマト運輸株式会社とパートナーシップ協定基本合意書を締結し、小商圏地域における買い物環境支援や効率的な物流の実現など、地域の持続的な発展や社会的課題の解決などに資することを目指しております。2023年8月現在、自治体や企業等と40件以上の各種協定を締結しております。

組織戦略としては、D&I委員会を設置し、多様な人材が活躍できる環境整備を進めるとともに、新たにCHRO（Chief Human Resource Officer）を新設し、経営戦略の実現につながる人材戦略の策定や実行の強化に取り組んでおります。また、CHO（健康管理最高責任者：Chief Health Officer）の設置や、サツドラグループ健康経営宣言の制定など、健康経営への推進にも積極的に取り組み、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2023」に認定されております。また、ガバナンス体制を強化し、コーポレート・ガバナンスコード全原則の適用を実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は239億85百万円（前年同期比 11.6%増、24億89百万円増）、営業利益は2億27百万円（同 212.3%増、1億54百万円増）、経常利益は1億84百万円（同 142.1%増、1億8百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円（同 201.8%増、62百万円増）となりました。

セグメント業績などの概要は、次のとおりであります。

<リテール事業>

主に北海道内でのドミナント化を目指したドラッグストアフォーマット店舗と調剤薬局店舗のチェーン展開に加え、訪日外国人が多く訪れる観光地などでのインバウンドフォーマット店舗の運営を中心に行っております。また、調剤薬局においては、調剤専門薬局の運営に加え、ドラッグストアフォーマット店舗での調剤併設薬局も行っております。

ドラッグストアフォーマット店舗の営業面では、ESLPを中心とする価格戦略を推進することで、お客さまから支持される店舗づくりや、作業平準化による業務効率の改善を目指すとともに、生鮮食品を含めたラインロビングの強化により、商品カテゴリーの拡大を図っております。また、サツドラアプリを活用したデジタルマーケティングの推進にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、物価上昇による生活防衛意識の高まりを受け、1人あたりの買上点数は減少したものの、人流回復や好天に恵まれ夏物季節品が好調に推移したことに加えて、店舗数が純増した結果、ドラッグストア

フォーマットの売上高は前年同期を上回りました。

インバウンドフォーマットにつきましては、休業していた店舗を順次営業再開し、訪日外国人観光客の需要を取り込むことができた結果、売上高は前年同期を上回りました。調剤薬局につきましては、新たに開設した調剤薬局の増収効果や、地域支援体制加算・後発医薬品調剤体制加算の強化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

店舗の出退店の状況につきましては、下表の通りとなりました。

(出店状況)

店舗区分	フォーマット区分	2023年5月期末	増加	減少	2023年8月度末
ドラッグストア店舗	ドラッグストアフォーマット (うち 調剤併設薬局)	176店舗 (15店舗)	2店舗 (-)	- (-)	178店舗 (15店舗)
	インバウンドフォーマット	13店舗	-	2店舗	11店舗
調剤専門薬局店舗	調剤専門薬局	10店舗	1店舗	-	11店舗
その他の店舗	北海道くらし百貨店	3店舗	-	1店舗	2店舗
合計		202店舗	3店舗	3店舗	202店舗

以上の結果、リテール事業の売上高は236億73百万円（前年同期比11.4%増、24億16百万円増）、セグメント利益は2億21百万円（同179.3%増、1億42百万円増）となりました。

<その他事業>

北海道共通ポイントカード「EZOCA」を活用した地域マーケティング事業や決済サービス事業、ユーザー目線での課題解決を目指したPOSアプリケーションなどの開発・販売、小中学生向けのプログラミングスクールの運営、小売と地域をテーマに課題解決を目指す国内外の法人向け情報提供サービス、当社既存事業とのシナジーや新規事業創出を目指すCVC事業などを行っております。当社グループの強みである北海道共通ポイントカード「EZOCA」の会員数は、2023年7月末現在、210万人を超えております。決済サービス事業においては、非接触型決済への需要が高まるなか、国内キャッシュレス決済は堅調に推移いたしました。

その他事業の売上高は4億23百万円（前年同期比26.4%増、88百万円増）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失10百万円、12百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億20百万円増加し442億47百万円となりました。これは主に、商品が1億41百万円減少したものの、現金及び預金が8億50百万円、売掛金が1億93百万円、有形固定資産が2億94百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億52百万円増加し354億45百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したものの、買掛金が10億27百万円、未払金が5億65百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ32百万円減少し88億2百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払いにより1億38百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により93百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期連結業績予想につきましては、2023年6月21日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,315	3,165
売掛金	2,632	2,825
商品	10,852	10,711
その他	3,819	3,754
流動資産合計	19,620	20,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,373	8,313
土地	3,972	4,004
その他（純額）	1,850	2,173
有形固定資産合計	14,197	14,491
無形固定資産	397	434
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,512	6,500
その他	2,311	2,374
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	8,812	8,863
固定資産合計	23,406	23,789
資産合計	43,027	44,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,531	9,558
短期借入金	5,500	5,500
1年内返済予定の長期借入金	994	994
未払金	4,017	4,582
未払法人税等	289	136
賞与引当金	592	454
その他	871	1,082
流動負債合計	20,795	22,310
固定負債		
長期借入金	10,740	10,491
退職給付に係る負債	689	706
資産除去債務	729	730
その他	1,237	1,206
固定負債合計	13,397	13,135
負債合計	34,192	35,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003	1,003
資本剰余金	2,098	2,102
利益剰余金	6,019	5,975
自己株式	△299	△299
株主資本合計	8,822	8,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△35	△27
為替換算調整勘定	△65	△65
退職給付に係る調整累計額	3	3
その他の包括利益累計額合計	△96	△89
新株予約権	4	4
非支配株主持分	103	104
純資産合計	8,834	8,802
負債純資産合計	43,027	44,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月16日 至 2022年8月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月16日 至 2023年8月15日)
売上高	21,496	23,985
売上原価	16,327	18,263
売上総利益	5,168	5,721
販売費及び一般管理費	5,096	5,493
営業利益	72	227
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
補助金収入	-	8
固定資産受贈益	-	2
為替差益	5	0
その他	24	18
営業外収益合計	34	35
営業外費用		
支払利息	30	36
支払手数料	0	41
その他	0	1
営業外費用合計	31	78
経常利益	76	184
税金等調整前四半期純利益	76	184
法人税等合計	45	89
四半期純利益	30	94
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	30	93

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月16日 至 2022年8月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月16日 至 2023年8月15日)
四半期純利益	30	94
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	-	7
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	0	7
四半期包括利益	31	102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31	100
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年5月16日 至 2022年8月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール 事業				
売上高					
ドラッグストア	19,740	—	19,740	—	19,740
インバウンド	137	—	137	—	137
調剤	1,029	—	1,029	—	1,029
その他	150	243	393	—	393
顧客との契約から生じる収益	21,058	243	21,301	—	21,301
その他の収益	185	9	194	—	194
外部顧客への売上高	21,243	252	21,496	—	21,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	82	95	△95	—
計	21,257	334	21,592	△95	21,496
セグメント利益又は損失(△)	79	△10	68	3	72

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソリューション事業、マーケティング事業及び教育事業等を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月16日 至 2023年8月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール 事業				
売上高					
ドラッグストア	20,934	—	20,934	—	20,934
インバウンド	1,286	—	1,286	—	1,286
調剤	1,057	—	1,057	—	1,057
その他	201	310	511	—	511
顧客との契約から生じる収益	23,480	310	23,790	—	23,790
その他の収益	179	15	194	—	194
外部顧客への売上高	23,659	325	23,985	—	23,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	97	111	△111	—
計	23,673	423	24,096	△111	23,985
セグメント利益	221	2	223	4	227

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソリューション事業、マーケティング事業及び教育事業等を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。